

## 町長コラム－笑顔の窓－



昨年12月、二宮地区のお茶講に出席いたしました。お茶講は明治時代、移住者が開拓の厳しい日々を乗り切るため、僧侶を招き「信仰修養」と「交流、親睦」を目的に始まり、120年以上の歴史があります。私はむかわ町の現状と今後のまちづくりについてお話しをしました。お話しの後には地元ならではのおいしい手作りの漬け物と煮豆、お茶をいただき皆さんと団らんしました。

水野俊範自治会長は「昭和になりお茶講は二宮尊徳の報恩精神と深く結びつき、地域融合の場として今日に至り、現在では農業問題、健康講座など幅広く、社会教育や地区の情報交換の場として二宮地区の文化遺産として、今後も大切にしていきたい」と話されました。まさに長年にわたり、未来につながる元気な地域づくりを継続、実践している二宮地区です。

私はどこの地域や組織でも、みんなで支え合うことの大切さを認識し、愛情と愛着で知恵を生かした住みよい地域づくりを実践してほしいと強く願っています。

私たちも地域の特色を生かしたまちづくりを支援し、人と地域そして自然が輝くことができる行政施策を展開していきたいと考えています。

【広報むかわ平成27年2月号掲載】